

長崎市新たな文化施設基本計画（概要版）

1 めざす姿と3つの役割（令和元年7月策定の基本構想より）

芸術文化と平和を世界と共有する

市民が芸術文化を楽しみ、芸術文化あふれる暮らしの喜びを体感するとともに、長崎で創られた芸術文化を世界へ発信し、世界の芸術文化が交わる場所をめざします。

また、文化芸術基本法の考え方にあるように、芸術文化は人々の心のつながりや、お互いのことを理解しあい、尊重しあう土壌を提供し、多様性を受け入れる心豊かな社会をつくるものであり、世界平和につながることを、長崎で共有し、世界へ広げていくことをめざします。

魅せる・触れる

鑑賞の場として、人々を魅了する芸術性と専門性の高い優れた芸術文化の公演や、市民が創り上げた作品など、多様な演目の公演を楽しむことができる場所にします。

創る・発信する

市民の芸術文化活動や創作活動を支え、海外とつながり、育んできた文化的資源を磨くとともに、長崎らしい芸術文化を創造・発信できる場所にします。

つながる・育む

誰もがいつでも立ち寄ることができる開かれた空間とし、芸術文化を通して人が集い・つながり、世代や分野を超えた交流を育む場所にします。まちとつながり、賑わいを生み、人とまちを育む場所にします。

2 建設予定地

新たな文化施設は、市庁舎本館跡地に建設予定です。



3 まちの中での施設の役割・期待される効果

【建設予定地 位置図】



・新たな文化施設は、長崎駅から新市庁舎、市民会館へつながる軸と、旧居留地である大浦地区から県美術館、出島、県庁舎跡地、市立図書館、歴史文化博物館、諏訪神社への軸が交わる中心市街地に位置します。このことから、まちなみや景観との調和に配慮するとともに、歴史的な文化や伝統に培われた地域や近隣施設との連携により、市民や観光客等の回遊性の向上や賑わいの創出を図ります。

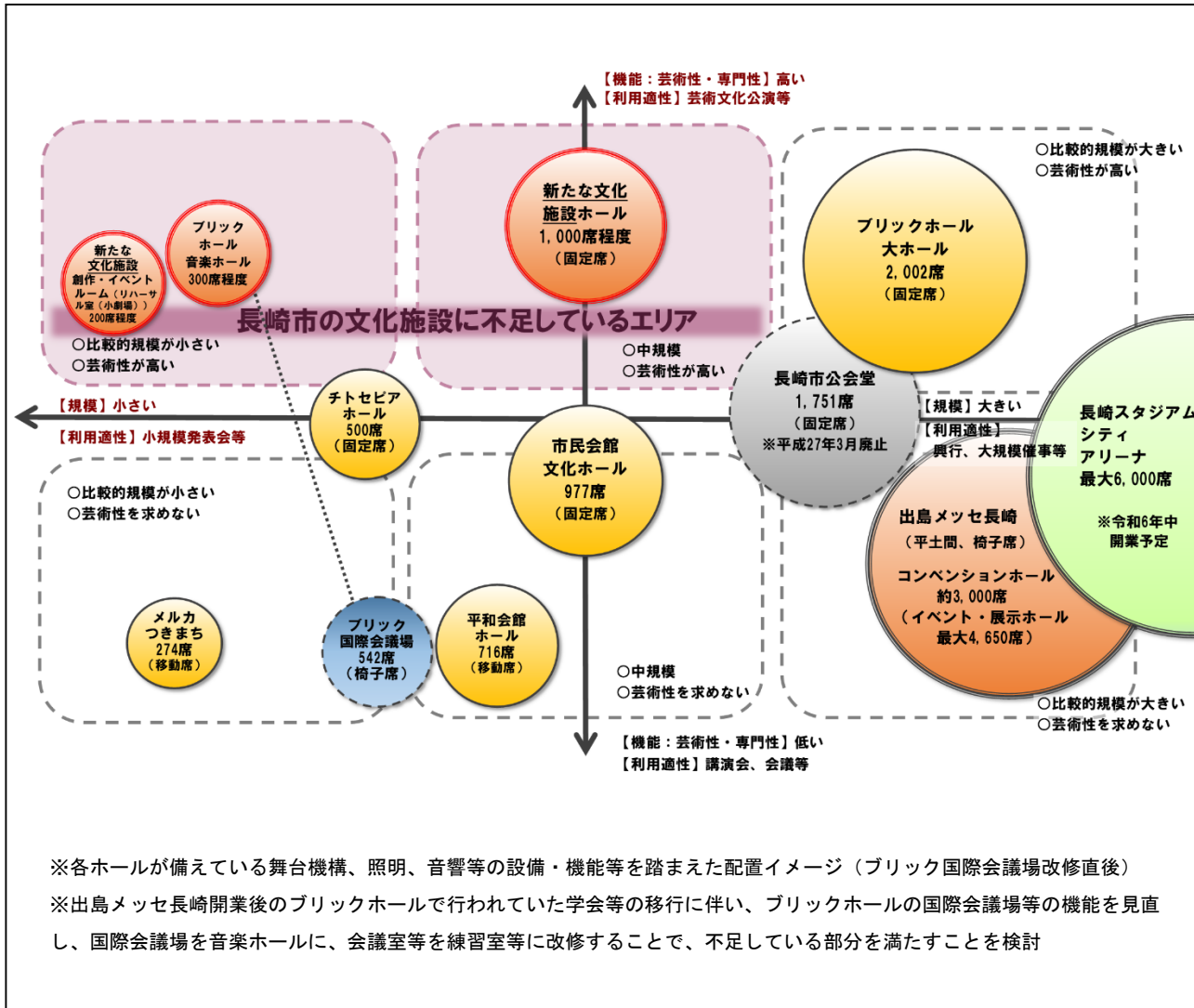
・新たな文化施設は、公共交通機関の利便性がよい都市機能が集積した中心市街地に位置していることから、新たな文化施設と周辺の桜町駐車場や桜町近隣公園を歩道橋やエレベーター等でつなぎ面的整備を図るとともに、長崎駅方面から新たな文化施設を経由して新市庁舎等に至る動線をバリアフリーに配慮したものとすること等について検討します。また、新たな文化施設を拠点に、桜町近隣公園、新市庁舎前広場、魚の町公園で芸術文化イベントを開催するなど、市民が集い、憩うことで、まちの賑わいの創出に繋がる整備を検討します。

・さらに、大規模災害時等において、新たな文化施設が帰宅困難者（観光客等）の一時滞在や、災害物資の集積・配送の場所等としても活用できるよう検討します。

<施設の配置計画における検討事項>

- ・最も大きな建築面積が必要となるホールの配置を最優先することを検討
- ・敷地形状等を踏まえ、ホールは市庁舎本館跡地西側広場側に寄せて配置することを検討
- ・人の動線（観客、施設利用者、出演者・主催者、管理者等）と物の動線（舞台、創作・イベントルーム（リハーサル室（小劇場））への搬出入、ごみの搬出など）を考慮しながら施設配置を検討
- ・国道34号側及び桜町電停側の両方からのアクセスを可能とすることを検討
- ・国道34号側と桜町電停側双方からの容易な往来を勘案したエレベーター等の整備によるバリアフリー対策を講じることを検討

【市内ホールの機能と規模の配置イメージ】



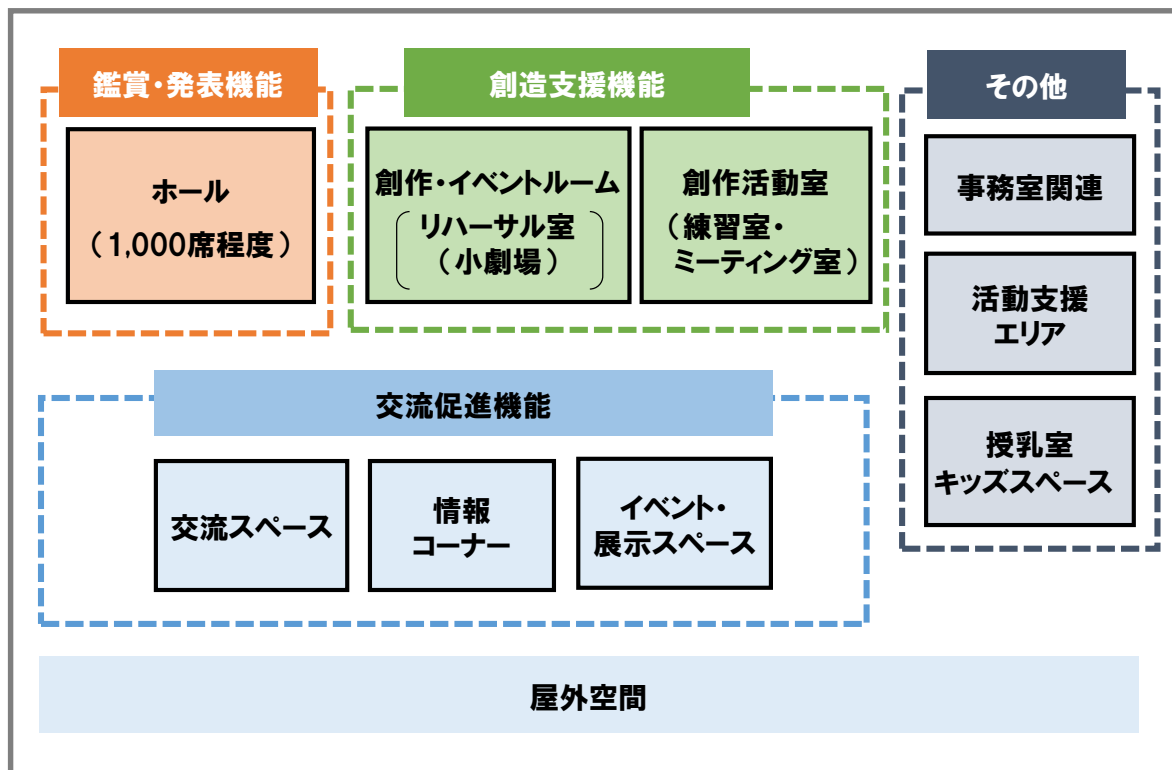
【市内ホールの主な利用内容（想定含む）】

<p>ブリックホール音楽ホール（300席程度）（想定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小規模なクラシックコンサート等の音楽公演の発表・鑑賞 ※国際会議場の改修後 	<p>市民会館文化ホール（977席）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校等の中規模催事 ●県内規模の大会、式典や講演会 	<p>ブリックホール大ホール（2,002席）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●興行コンサート ●出演団体等が多い大規模な芸術文化催事の発表・鑑賞
<p>チトセピアホール（500席）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小規模な芸術文化催事の発表・鑑賞 ●近隣学校等の小規模催事 	<p>新たな文化施設（1,000席程度）（想定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●舞踊、演劇、ミュージカル等、中規模の芸術文化催事の発表・鑑賞 ●小劇場での演劇等の公演 	<p>スタジアムシティ・アリーナ（最大6,000席）（想定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●興行コンサート（クラシック等を除く） ※芸術文化利用の場合
<p>メルカつきまち市民プラザホール（274席）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●行政・企業説明会、展示会の開催 	<p>平和会館ホール（716席）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被爆体験講話などの平和学習 ●舞踊等の芸術文化活動の練習 	<p>出島メッセコンベンションホール（3,000席程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際・全国規模の学会、大会、展示会の開催

- ① 市内ホールの状況等を踏まえ、市内ホール全体の機能と規模のバランスが図られ、稼働状況が平準化できるよう、また、見切れ席が少なくホール全体が見えやすい席となり、より満足度の高い鑑賞条件を備えたホール整備が可能となるよう、新たな文化施設の座席数は1,000席程度とする。
- ② 小規模の演劇公演等に対応できる規模と機能を持つ公演会場としても利用できるよう、新たな文化施設には、小劇場機能を持つ諸室を整備する。
- ③ 少人数で利用できる練習室のニーズがあり、市内には小規模の練習室が少ないため、また、ホール等の楽屋としても利用できる小規模の練習室機能を持つ諸室を整備する。
- ④ ミニコンサートやイベントの開催、展示等が可能で、市民や観光客が交流できるスペースを新たな文化施設のエントランスに整備する。

(1) 施設機能

新たな文化施設の施設機能を以下のように整理します。



鑑賞・発表機能

市民の舞台芸術の鑑賞・発表の場として、芸術性と専門性の高い公演に対応でき、多様な演目が可能なホールを整備します。

創造支援機能

市民の日常的な芸術文化活動を行える場として、練習室機能とリハーサル室機能を持つ諸室を整備します。リハーサル室機能のある部屋には、小規模の演劇公演やイベント等にも対応可能な舞台設備や控室を計画します。

交流促進機能

芸術文化による交流や賑わいを生み出す場として、市民の交流活動や多様なイベントが開催できる諸室やスペースを整備します。ホールや創造支援機能の諸室を利用しない市民や観光客も自由に利用可能な場とします。

その他の機能

施設全体の維持管理を行う管理事務室

(2) 施設構成・規模

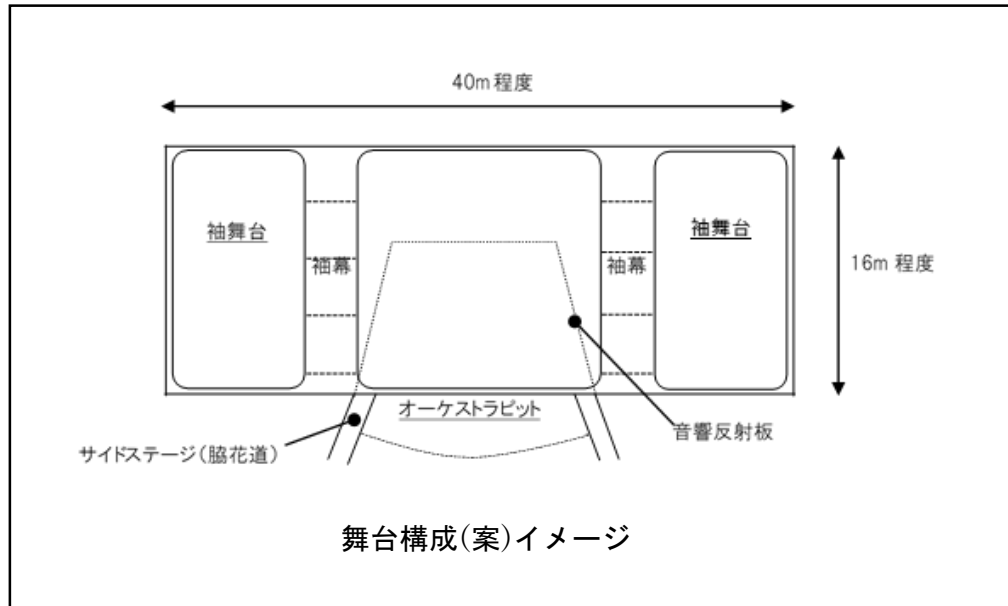
ア 鑑賞・発表機能

ホール

主要諸室	想定される構成
客席	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収容人数は使い勝手に配慮し、1,000席程度（2層）とし、催し物の規模に合わせて少人数でも利用しやすいよう工夫します。 ・ どの客席からも舞台が良く見える配置とし、良好な鑑賞条件を確保します。 ・ ゆとりのある客席寸法とし、障害のある人や親子での利用にも配慮したものとします。 ・ 遮音性能に配慮するとともに、催しものに応じて残響時間を調整できるよう工夫をします。 ・ オーケストラピットに対応できるよう客席の一部を取り外し可能とします。 ・ 催しものに応じて持込機材（音響調整卓、調光操作卓等）が設置できるように計画します。
ホワイエ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホール満席時においても対応可能な十分な滞留スペースを確保します。 ・ ホワイエ内のトイレは、客席との往来がしやすい場所に十分な数の客用トイレと多機能トイレを設け、その待機スペースについても配慮します。 ・ 来場者が利用できるクロークやロッカーの設置を計画します。 ・ ホワイエまでの動線は、高齢者、障害のある人、子ども等に配慮した計画とします。 ・ ホールが利用されていない時にも開放し、市民等の交流の場となるよう、来館者が日常的に利用できるように工夫します。
舞台	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な利用に応じて舞台間口を可変できるプロセニウム形式を採用します。 ・ 様々なジャンル、演目に対応できる十分な広さの舞台を設け、十分なすのこの高さを確保します。 ・ クラシック音楽のような生音の演奏にも配慮し、音響反射板を設置します。 ・ 舞台袖は、搬出入のしやすさや出演者の待機場所、設備スペース等に配慮し、上手・下手ともに十分な広さを確保します。 ・ オーケストラ演奏のある演目や、張出舞台利用に対応するため、オーケストラピット迫りを設置します。 ・ サイドステージを脇花道としても利用し、多様な演出に対応可能とします。 ・ 舞台下に奈落を設けることで自由な位置に切穴を設けられる計画とし、必要に応じて大迫り・小迫りを備える等、多様な演出に対応可能なものとします。 ・ 様々な催しものに対応可能な舞台特殊設備を備え、多様な公演が可能な計画とします。
楽屋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 催しものの規模に応じて使える複数の楽屋を確保します。 ・ 舞台との往来に配慮した配置とします。 ・ 楽屋エリアに上演団体のスタッフのための控室を設けます。 ・ 楽屋事務室、楽屋ロビー、トイレ、シャワールーム、給湯室、楽屋倉庫等を設けます。 ・ 大楽屋は練習やミーティングを行うことも想定した仕様とし、動線を確保します。
搬入口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな催しにも対応できるよう11tトラック2台が駐車でき、雨天時においても搬出入作業が可能な計画とします。 ・ 舞台へのスムーズな搬出入が可能な配置とします。 ・ 搬出入経路となる廊下や荷物の一時集積場所となる荷捌きスペースは、十分な広さを確保します。 ・ 搬入口が舞台と異なる階になる場合は、搬入用大型エレベーターを設置します。
倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舞台大道具が収納可能な十分な広さの大道具倉庫を設置します。大道具倉庫は舞台との動線に配慮した位置に設置します。 ・ ピアノ庫は温湿度環境に十分に配慮するとともに、舞台との動線に配慮した配置計画とします。

ウ 交流促進機能

主要諸室	想定される構成
エントランスロビー	<ul style="list-style-type: none"> ・創作・イベントルームで催しを行う際に、観客の待機スペースとして利用できる空間とします。 ・小規模なミーティング等で利用できるよう椅子やテーブル等を設置し、市民や観光客が自由に過ごせる交流スペースを計画します。 ・長崎市の芸術文化の情報収集、観光情報等を集積した情報ラウンジ機能を設け、地域の文化活動等を通じた交流の場のほか、日常的に市民や観光客が気軽に利用できる場として計画します。 ・ミニコンサートや展示利用等、市民活動で利用できる広さや設備を計画します。
屋外空間	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に人が集まるような広場の整備を検討します。 ・屋内と屋外をつなげるようなイベント開催利用を考慮した設備を計画します。



イ 創造支援機能

主要諸室	想定される構成
創作・イベントルーム (リハーサル室 (小劇場))	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールの主舞台と同程度（音響反射板を設置した際の規模）の面積と十分な天井高さを確保し、遮音性にも配慮します。 ・市民の発表やリハーサルのほか、小規模の演劇公演やイベント等にも対応可能な舞台設備やスタッフ控室を計画します。 ・公演利用時の収容人数は最大200人程度とします。 ・市民の発表や小規模の演劇公演等で本番利用する際は、スタッフ控室のほかに、ホールの楽屋や創作活動室を楽屋として転用することで対応します。 ・ミーティングやホールの楽屋として利用可能な計画とします。 ・ホールとの同時利用を考慮し、ホールエリアと交差しない動線計画とします。 ・創作・イベントルームのための専用の搬入口を設けます。搬入口は4tトラックが駐車可能なスペースを確保し、搬出入が容易にできるよう動線に配慮した配置とします。
創作活動室 (練習室・ミーティング室)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が日常的に利用できるよう複数の部屋を用意します。 ・小規模な練習や演劇、アンサンブル等で利用可能な規模の部屋を設けます。 ・電子楽器の練習にも対応可能となるよう防音や遮音性能に配慮した計画とします。 ・ホールや創作・イベントルームの楽屋としても利用できるようホールの舞台との往来に配慮した計画とします。

エ その他機能

主要諸室	想定される構成
その他の機能	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや乳幼児を連れた来館者も気軽に施設を利用できるようキッズスペースや授乳室を計画します。 ・市民や市民団体などが日常的に利用できるスペースを共用部等に検討します。 ・施設全体の維持管理や諸室貸出等を行う管理事務室を設置します。管理事務室は管理運営スタッフの執務スペースや受付機能、利用者打ち合わせの諸室を設けるとともに、来館者が訪れやすい開かれた諸室とします。 ・新たな文化施設の敷地内に、障害者用駐車場・関係者用駐車場を設けます。利用者用駐車場は、敷地面積の条件等から敷地内に設けることが難しいため、周辺の公営駐車場や民間駐車場を活用することとします。バスへの対応については、敷地内に一時停車・乗り降りスペースを計画することを検討します。 ・大規模災害発生時に状況によっては、帰宅困難者（観光客等）の受け入れも想定して、一時滞在場所や災害物資の集積・配送場所として利用できるスペースとしても検討します。

(3) 想定延床面積

機能		想定面積	主要諸室
機能部	鑑賞発表機能	3,600㎡	ホール、客席（1,000席程度）、舞台、ホワイエ、トイレ、楽屋、搬入口、倉庫、技術諸室等
	創造支援機能	500㎡	創作・イベントルーム（リハーサル室（小劇場）、収容200人程度）、創作活動室（練習室、ミーティング室）、控室、倉庫、搬入口等
	交流促進機能	450㎡	エントランスロビー、交流スペース、情報コーナー、イベント・展示スペース等
	その他の機能	350㎡	キッズスペース・授乳室、事務室、監視室、守衛室等
共用部		1,470～1,720㎡	廊下、トイレ、エレベーター等
機械室		1,130～1,180㎡	機械室
合計 (全体延床面積)		7,500～7,800㎡	

6 施設整備にあたって考慮すべき事項

新たな文化施設は、基本構想の施設整備の基本的な考え方を基に基本計画を策定し、今後、具体的な整備を検討していきます。検討にあたっては次の事項を考慮しながら進めていきます。

- ① ユニバーサルデザイン・バリアフリーへの対応
 - ・すべての人に開かれた施設とするため、ユニバーサルデザインや、近隣施設との連結を含めたバリアフリーなどに対応することを想定
 - ・誰もが芸術文化に等しく触れることができ、気軽に訪れ、安心して利用できる施設
- ② 環境や持続可能性に配慮した施設計画
 - ・持続可能な開発目標「SDGs」を踏まえ、時代の大きな流れの中で変わることなく必要とされる機能を満たした施設とすることを想定
 - ・省エネや再エネを活用した環境にやさしい施設
 - ・運営コスト等の様々な負荷を低く抑えられる効率的な方法を検討
- ③ 災害に対する備えを強固にし、安全を確保できる施設
 - ・市民や観光客などを安全に守ることができる施設
 - ・施設自体に防災機能を整え、災害に強い施設
 - ・大規模災害時等は市民や観光客などをサポートできる機能も勘案した施設
- ④ 最新の技術や設備による利便性と質の向上
 - ・ホールで必要とされる設備等の利便性や効率性ととも、映像や通信技術分野の進化スピードも考慮したうえでの更新等も視野に入れた将来的な技術進化にも柔軟に対応できる施設・設備
- ⑤ 新たな生活様式等に適合した施設
 - ・新たな感染症や、芸術文化を取りまく状況の変化にも対応することを想定した施設

7 管理運営計画に関する考え方

新たな文化施設の管理運営計画の策定にあたっては、基本構想に掲げる「めざす姿と3つの役割」や基本計画等を踏まえながら、次のようなことを検討していく必要があります。

新たな文化施設の整備をきっかけとして、市民の皆さんがこれまで以上に芸術文化を楽しみ、芸術文化あふれる暮らしの喜びを体感できるようにするため、新たな文化施設が、市民やまちとどのようにつながり、動き、変化をもたらしていくのかを具体化していく必要があります。

また、そのために施設を効果的かつ効率的に管理・運営するための組織体制やルール、運営方針などのしくみを検討するとともに、新たな文化施設だけでなく、他のホール型施設などとも連携し、その効果や成果が大きくなるよう、取り組んでいく必要があります。

管理運営計画の策定に際しては、具体的には次のような項目を検討します。

- ア 基本理念・コンセプト
- イ 事業計画
- ウ 組織計画
- エ 施設管理計画
- オ 広報宣伝計画

8 概算建設費

建設費見込額 66～69億円程度

この建設費は、近年整備されている他都市の類似施設を参考にしつつ算出した概算額であり、今後の物価等の動向などにより変動する可能性があります。

9 整備スケジュール（今後の予定を含む）

時期	事項
平成30～令和元年度	基本構想策定
令和2～5年度	基本計画策定
令和4年度	測量、土質調査
令和4～6年度	管理運営計画策定
令和5年度～	市庁舎本館解体工事、基本設計・実施設計、埋蔵文化財記録保存調査、建設工事